



目の下の「くま」って、どうしてできるの

目のまわりがくぼむため

「くま」というのは、漢字では隈と書き、おくまってかくれたところとか、かげのあるところを意味しています。

目の下にできる「くま」の場合、つかれたり、心配したりして、体がやせ、目のまわりがくぼんで、光のあたりぐあいによっては、目の下にかげができたように、黒っぽく見えるため、「くま」ができたなどといっているようです。

歌舞伎では隈取りをする

歌舞伎では、「隈取り」といって、特別のけしょうをすることがあります。

「隈取り」とは、顔面にかげをつけることであり、顔面の骨格にそって、紅、藍、墨などいろいろな色で線をかき、ぼかしをつけて、筋肉とかげを印象づけ、表情などを大げさに表現するものです。

それぞれの役の、強いとか弱い、正義と悪、こわいとかやさしい、おかしいなどといった、性格や感情を、役者の表情を生かしながら、表現しています。（監修・保志 宏）

歌舞伎の「隈取り」の例

